

北海道震度 6 強

新千歳空港で長周期地震動階級 4 を観測

毎日新聞 2018年9月6日 11時04分 (最終更新 9月6日 17時24分)

気象庁は今回の地震について、新千歳空港で長周期地震動の揺れとしては最大の「階級 4」を観測したと発表した。気象庁は 2013 年 3 月から試行的に長周期地震動の観測情報を提供している。これまでに階級 4 を観測したのは、16 年 4 月 15 日と同 16 日の熊本地震で、今回が 3 回目。

長周期地震動は地震の揺れの成分のうち、ゆっくり繰り返す長い揺れで、大地震の際に高層ビルに大きな影響を及ぼす。階級 4 は「高層ビルの中にいる人が立っていることができず、はわないと動くことができない状況」とされる。

今回の地震では、千歳市北栄で階級 3、十勝地方や胆振（いぶり）地方などで階級 2 を観測した。気象庁の松森敏幸・地震津波監視課長は「長周期地震動は離れた所でも減衰せず伝わる。高層階に住んだり、仕事をしたりしている人は家具や事務機器を固定して今後の地震に備えてほしい」と呼び掛けた。【最上和喜】